

医療連携推進方針（案）

1. 医療連携推進区域

長野県下伊那郡阿南町 長野県下伊那郡下條村 長野県下伊那郡売木村
長野県下伊那郡天龍村 長野県下伊那郡泰阜村

2. 参加法人（仮）※最大限参加の場合の法人として記載しています。

下伊那郡阿南町：県立阿南病院
下伊那郡阿南町：新野へき地診療所
下伊那郡阿南町：富草へき地診療所
下伊那郡阿南町：和合へき地診療所
下伊那郡下條村：中島医院
下伊那郡下條村：輝山会下條診療所
下伊那郡売木村：売木村国保直営診療所
下伊那郡天龍村：天龍村国民健康保険診療所
下伊那郡泰阜村：泰阜村診療所
下伊那郡阿南町：JA みなみ信州阿南歯科診療所
下伊那郡下條村：小澤第二歯科医院
下伊那郡売木村：売木歯科診療所
下伊那郡泰阜村：みやじま歯科医院
下伊那郡阿南町：あなん薬局
下伊那郡阿南町：日本調剤北條薬局
下伊那郡下條村：ひさわ薬局
下伊那郡阿南町：県立阿南病院訪問看護ステーションさくら
下伊那郡阿南町：介護老人保健施設アイライフあなん
下伊那郡阿南町：特別養護老人ホーム阿南荘
下伊那郡阿南町：特別養護老人ホーム赤石寮
下伊那郡下條村：特別養護老人第二光の園
下伊那郡天龍村：特別養護老人ホーム天龍荘
下伊那郡天龍村：養護老人ホーム天龍荘
下伊那郡泰阜村：特別養護老人ホームやすおか荘
下伊那郡阿南町社会福祉協議会
下伊那郡下條村社会福祉協議会
下伊那郡売木村社会福祉協議会
下伊那郡天龍村社会福祉協議会
下伊那郡泰阜村社会福祉協議会

3. 理念・運営方針

（理念）

少子高齢化と地域外への人口流出が著しく、医療資源が極めて乏しい長野県下伊那郡南部地域において、長期的に持続可能な地域医療・へき地医療体制を構築するために、基礎自治体を越えた連携で機能する枠組みを構築し、医療機関間の協力体制を強化し、介護・福祉サービス事業者等との協力体制に基づいた機能分担による地域完結型の保健医療介護福祉サービスを一体的に提供することにより、地域包括ケアシステムの構築を推し進め、地域住民が住み慣れた地域で安心安全に暮らすことが出来るよう支え合うことが、南部地域医療連携推進ネットワークの理念である。

(運営方針)

理念を実現するために、保健・医療・介護・福祉・行政・地域住民が連携協力し、持続可能な南部地域の医療提供体制実現に向けて、以下の方針をもって運営を行うこととする。

- ① 医療連携推進区域を構成する南部地域各医療機関間の持続可能な相互支援体制のもと、地域医療・へき地医療を提供する。
- ② 南部地域各医療機関の負担軽減を図る為、また医療資源が極めて乏しい中でも効率的で質の高い医療を提供する為、ICTを積極的に利活用した医療体制と医療DXを推し進める。
- ③ 地域住民が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療提供体制を中心に、在宅医療・介護・福祉・行政の連携協力体制に至るまで一体的な体制整備と運用支援に取り組む。
- ④ 地域住民の生活の質の保障と向上を目的とした広義の医療をめざすとともに、疾病の治療のみならず、日々の健康づくりや介護予防等の保健福祉領域とも連携した医療を展開する。
- ⑤ 地域医療人材の教育の場を提供するとともに、医療介護従事者の持続的な確保や受け皿としての機能を強化する。
- ⑥ 少子高齢化や人口減少時代における基礎自治体の枠組みを越えた新たな持続可能な地域医療連携の在り方として、内外に必要な情報発信をする。
- ⑦ 理念達成のため連携推進法人内機関間の連携はもとより、医療連携推進区域内外の様々な社会的資源との連携も積極的に図る。

4. 医療機関相互の機能分担及び業務連携に関する事項及びその目標

○区域内施設の機能分化

・医療機関間の連携を軸に、区域内の医療連携ネットワークを構築する。医療資源が極めて乏しい中、地域住民に対して必要な医療機能が維持できるように、特に休診時や急な医師不在時等における医療応援体制や休日夜間救急医療体制について、地域内でより迅速かつ柔軟に対応可能な連絡調整機能を持たせる。

○医療介護従事者等の人材確保・人材育成

・区域内外に、へき地の地域医療の先駆的事例（モデル）として発信するとともに、医師をはじめとする医療人材の安定確保に協力して取り組む。

○医療介護従事者等の確保が困難な施設に対し、簡易な手続きにより参加機関間で職員の

人事交流及び派遣が可能な体制とする。

○研修会

- ・講習会等の開催や医療介護従事者向けのサービス質の向上を目指す研修会及び講習会を共同で開催する。
- ・医療介護従事者の確保、職員の養成・定着を目的とした各種事業を実施する。
- ・区域内において、健康づくりや介護予防を目的とした講座の開催など、保健福祉領域事業への支援を行う。

○区域内施設の経営効率化

- ・医薬品・医療資材の一括交渉・共同購入を行う。
- ・委託業務契約について共同交渉を行う。
- ・医療機器の共同利用の仕組みを構築する。

○地域包括ケアシステムの構築支援

- ・区域に対して先進的な地域包括ケア体制に関する情報を提供する。
- ・多職種連携により地域に適した地域包括ケアシステムを、健康づくりや介護予防等の保健福祉領域とも連携しながら構築を支援する。
- ・地域全体が一つの医療機関、一つの介護施設として機能する体制づくりを支援する。

○ICT 利活用による患者情報共有化等医療 DX の推進と医療の負担軽減・効率化への支援
時間的・空間的に不利な条件を克服するため、限られた医療介護等資源を最大限効果的に活用しながら、多職種連携と組織間連携に ICT を実装し、いつでも必要な時に利用できるよう、以下の取り組みを実務も含めて運用支援する。

- ・飯田下伊那診療情報連携システム [ism-Link] による医療情報の共有
- ・医療介護情報共有システム「トリニティケアクラウド」によるオンライン診療・カンファレンス・ケア会議等の実施
- ・調剤情報共有システム（飯田下伊那薬剤師会が運営）を介した電子お薬手帳の普及

○在宅医療の充実

- ・各行政区域が持つ資源を補完しながら、24 時間 365 日の在宅支援体制を構築する。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業等に関する事項

○各種介護サービスの安全性と質の向上

- ・感染対策やリスクマネジメントなど介護の領域でも必要とされる課題に関し共同研修の実施、医療と介護のスムーズな連携強化を図る。

○地域包括ケアシステムの構築支援

- ・医療、介護、介護予防、住まい、生活支援等のサービスを包括的に提供できる地域包括ケアシステムの構築に向けた地域の取組みを支援する。

R6.4.15 修正